

# 吉祥寺

～ まちづくりのあゆみ ～

武蔵野市

# 吉祥寺

～ まちづくりのあゆみ ～



## はじめに

世界有数の繁栄を誇りエネルギーに発展する日本の首都、東京。

吉祥寺は、その新都心新宿から12km、渋谷から13km、立川から15kmのちょうど中間に位置している。

吉祥寺駅乗降客数はJR中央線と京王井の頭線を合わせ一日約34万人にもものぼる。

現在、新しい感覚のショッピング街が形成され、今や吉祥寺は、ファッション、レジャー、グルメ、文化、暮らし、ビジネスなど、若者や、ミセスを中心としたあらゆる活動の場として、各方面の注目を浴びる街となった。また、近くには、緑豊かな井の頭公園を控え、周囲には、閑静な住宅街が広がっている。

このパンフレットは、吉祥寺について、努めて簡略的にその足跡を印したものであり、一助の参考となれば幸甚である。

# ■目 次

1. これまでの吉祥寺(歴史).....	4
2. 基盤づくり	
(1) 道づくり.....	6
(2) 商業の核づくり.....	14
(3) ターミナルづくり.....	15
3. より良い環境を目指して	
(1) 環境浄化特別推進地区.....	16
(2) 違法駐車防止条例.....	17
4. これからの吉祥寺	
(1) 課 題.....	18
(2) 21世紀に向けて.....	19
●資 料	
(1) 年 表.....	20
(2) 資金計画.....	26

## 1. これまでの吉祥寺(歴史)



昭和初期●吉祥寺駅前通り

吉祥寺の町の歴史は、明暦年間（1658）の大火で被災した江戸市内の吉祥寺という門前町の住人が転住、開墾したことに始まる。月窓寺、光専寺、蓮乗寺の寺域もこのとき決まった。

明治22年（1889）、JR中央線の前身、甲武鉄道が新宿ー立川間に開通、当初、武蔵野村には境駅が開設されたが、吉祥寺の村民から新駅設置の運動が起こり、惣代高橋亀三郎氏他7名が、村民から資金を募り、駅用地を買収、労力を提供し、駅施設を設置して明治32年（1899）、甲武鉄道に無償寄付した。駅周辺の道路も地元で整備し村と府に寄付した。武蔵野村の人口は、大正12年（1923）の関東大震災の後、急増した。帝都電鉄（現・京王帝都電鉄井の頭線）は、昭和9年（1934）に吉祥寺駅まで開通した。昭和13年（1938）、中島飛行機が武蔵野町に工場を開設、武蔵野町は戦時中、軍需産業都市として発展した。

戦後、吉祥寺駅周辺は、強制疎開地跡にマーケットが生まれ、駅前通り、仲町通り、平和通り、公園通りなどの商店街が発達した。昭和30年頃から、吉祥寺ダイヤ街（アーケード）の開設、平和通りのアーケード設置、レンガ街の開設、吉祥寺名店会館のオープンなど繁華街としての魅力が増してきた。

武蔵野市は、30年代までは東京のベットタウンとして発展してきたが、昭和40年代に入って商業集積がさかんになり、50年代には金融証券業の進出が相次いできた。60年代はあらゆる情報の発信基地として人・金・ものが集中する、生活密着型の「生活核都市」として新宿以西最大の商業都市として成長してきた。



昭和13年頃 ● 平和通り



昭和29年 ● 吉祥寺駅周辺

## 2. 基盤づくり

### (1) 道づくり



昭和26年頃 ● 吉祥寺駅前通り

吉祥寺駅前は、戦後復興するに従い混雑をきわめ、その整備が早くから課題となっていた。そのため、昭和29年（1954）吉祥寺駅周辺について検討するため市議会に初めての特別委員会が設置された。

昭和36年市議会特別委員会の報告を受け、東大高山研究室に都市計画の作成を依頼した。37年3月に公表された高山案は、207,800㎡に及ぶ広い地域をスーパーブロック方式で整備するという画期的なものであった。ところが、既存の商店街を破壊するとして地元の大反対に会った。



高山案(昭和37年)

## 吉祥寺駅周辺再開発案の変遷

名称	吉祥寺駅前広場 計画案	吉祥寺駅前地区 改造計画案	吉祥寺駅周辺市街地 再開発実施案	吉祥寺駅周辺都市計画 事業計画案
略称	29年案	高山案	6月案	事業決定案
公表年月日	昭和30年3月25日	昭和37年3月9日	昭和40年6月30日	昭和41年9月29日
対象地域面積	—	20万7,800㎡	8万2,500㎡	—
広場	北口(開発前600㎡)	4,800㎡	9,500㎡	1万400㎡
	南口(開発前400㎡)	850㎡		
基幹道路	南北新設	幅員15m	幅員20m	幅員22m×延長290m
	東西新設	—	幅員16m	幅員16m×延長230m
その他の道路	平和通り(開発前11m)	一部幅員15m	幅員20m	幅員16m
	公園通り(開発前9.1m)	—	—	幅員16m
音体跡地	—	幅員18m 幅員16m 幅員12m	—	区画道路 幅員8m×延長176m 幅員8m×延長119m
その他の施設	—	面的商業施設	商業施設(1~8F) +住宅(10~15F)	商業施設(B1~3F) +住宅(5~9F)
開発手法	—	スーパーブロック 方式による 商業施設+住宅	娯楽、金融などの5 ブロック 商店(1~2F) 駐車場 (3F)住宅(4~10、15F)	防災建築街区造成事業 を含む自主開発
経費	広場 1億4,285万円 取付道路 6,580万円	52億円(1期32億) (2期20億)	広場、区画整理 29億3,000万円 ビル 166億円	広場、基幹道路 43億4,300万円 区画道路 8億円
予定期間	—	—	6ヵ年	7ヵ年
国鉄吉祥寺駅	—	スーパーマーケット 的施設を付設	民衆高架駅	民衆高架駅
国鉄中央線	複々線	高架複々線	高架複々線	高架複々線



# 吉祥寺駅周辺都市計画道路計画表

昭和39年10月23日

街路番号			街路名称	起 点	終 点	主な経過地	幅員 m	延長 m	計画決定 番 号
等級	類別	番号							
2・1・1 (3・4・3)			高井戸 小平線	武蔵野市吉祥 寺南町3丁目 2391番地	北多摩郡田無 町上向台1123 番地	武蔵野市関前 2丁目1050番 地 北多摩郡保谷 町上保谷新田 427番地先	20	6,670	2・1・1
			ただし		武蔵野市吉祥 寺南町3丁目 2391番地	武蔵野市吉祥 寺南町1丁目 2737番地		14.5	1,410
2・2・9 (3・4・16)			国領 吉祥寺線	武蔵野市御殿 山1丁目3273 番地	武蔵野市吉祥 寺東町2丁目 616番地	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2040番地	16	2,030	2・2・14
			ただし		武蔵野市御殿 山1丁目3273 番地	武蔵野市吉祥 寺南町1丁目 2738番地		15	760
1・3・2 (3・3・15)			吉祥寺駅 北口線	武蔵野市吉祥 寺南町1丁目 2738番地	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2738番地		20	60	
				武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2103番地	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2097番地		22	240	1・3・4
なお、起点付近に地積約10,400平方メートルの広場を設ける。									
1・3・1 (3・3・14)			吉祥寺駅 南口線	武蔵野市吉祥 寺南町2丁目 2721番地	武蔵野市吉祥 寺南町1丁目 2721番地		22	50	1・3・5
2・2・4 (3・4・4)			吉祥寺 平和通り 線	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2080番地	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2050番地		16	190	2・2・31
2・2・5 (3・4・8)			吉祥寺 本町線	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2088番地	武蔵野市吉祥 寺本町1丁目 2047番地		16	230	2・2・32

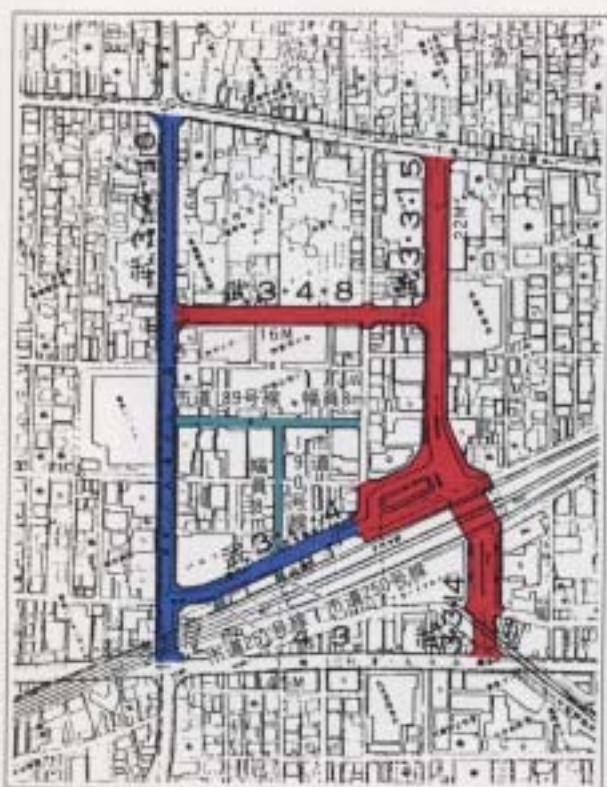
## 理 由 書

国鉄中央線吉祥寺駅周辺の交通の円滑を図るため、本案のように計画するものである。

注：表の道路番号は昭和42年から平成元年までの道路番号。  
( )内は現在の道路番号。  
本文では原則として( )内の番号を用いる。

昭和38年5月、新しく後藤喜八郎市長が就任し、市、市議会、地元の話し合いの場として三者協議会を発足させた。

一方、国鉄（現JR）中央線の複々線高架化計画が具体化し、このチャンスに乗る必要に迫られていたころ、東京都も道路計画の実現を強く求め具体案を提示してきた。市議会は、市の検討してきたことが配慮されており市の考えもこれにほぼ近いことから、地元の要望を踏まえて都案に同意、39年10月吉祥寺駅周辺の都市計画道路が計画決定された。



- 都市計画道路(市施工)
- 都市計画道路(都施工)
- 区画道路、市道認定路線



都市計画決定時の吉祥寺と計画線



都市計画事業完成イメージ

### ●都市計画事業〈武蔵野市施行〉

昭和41年（1976）12月、吉祥寺駅周辺の都市計画事業は認可を受け、道路事業に着手した。当初の事業年度は41年度から47年度までの7ヵ年だった。

南北の基幹道路（A道路＝現3・3・14号線、3・3・15号線）については、駅前広場も含まれていたが、広場以外の道路部分は、地権者の協力がスムーズに得られ、早期に解決することができた。46年3月には五日市街道から末広通りまでの区間が開通し、駅前通りがアーケード化され、サンロードが誕生した。



昭和46年●工事中のA道路



現在のA道路(吉祥寺大通り)

東西の基幹道路（B道路＝現3・4・8号線）は、完全な新設道路で、音体跡地ビルの前面道路として期待されていた。難関の墓地移転を終え、46年11月には公園通りから駅前通りまでが全線開通した。

駅前広場造成費用の分担をめぐることは、国鉄と激しい交渉の後、協定を結んだ。この際国鉄余剰地を確保することができた。

3・3・14号線については、井の頭線高架橋架替工事を京王帝都電鉄に委託した。用地買収の遅れ、工事価格の上昇などがあったが、52年11月には完了し、A道路が井の頭通りまで貫通した。

なお、北口駅前広場用地の買収が残ったため事業認可期間の延伸を余儀なくされた。

昭和58年、現土屋正忠市長が就任し、北口駅前広場用地について土地収用法の適用を含め、不退転の決意で望むとの強い姿勢を示し、土地収用法の適用の準備を慎重に始めた。昭和60年3月適用を開始したが、強制代執行には至らず、61年3月には、すべての用地を買収することができ、駅前広場を含む都市計画道路事業は62年3月をもって完成に至った。

当初事業認可を受けてから、4回の事業期間延伸を行い、のべ21年間に及ぶ大事業となったわけである。

### 吉祥寺駅周辺都市計画道路事業の決定(武蔵野市施行)

昭和41年12月20日

街路番号			街路名称	起 点	終 点	主な経過地	幅員 m	延長 m	備 考
等級	類別	番号							
1	3	2 (3・3・15)	吉祥寺駅 北口線	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2103番 地	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2097番 地	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2100番 地	22	約 240	—
なお、起点付近に地積約10,400平方メートルの広場を設ける。									
1	3	1 (3・3・14)	吉祥寺駅 南口線	武蔵野市 吉祥寺南町 2丁目2721番 地	武蔵野市 吉祥寺南町 2丁目2721番 地	武蔵野市 吉祥寺南町 2丁目2721番 地	22	50	—
2	2	5 (3・4・8)	吉祥寺 本町線	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2088番 地	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2047番 地	武蔵野市 吉祥寺本町 1丁目2071番 地	16	230	—
2	2	9 (3・4・16)	国 領 吉祥寺線	—	—	—	—	—	3・4・8号線 関連街角部

### 理 由 書

国鉄中央線高架複々線工事の実施に伴い、吉祥寺駅周辺の交通処理の円滑化を図るとともに、市街地の再開発に寄与するため、事業を実施しようとするものである。

## ●都市計画事業〈東京都施行〉

公園通り（3・4・16号線）と平和通り（3・4・4号線）は、東京都施行事業であった。公園通りの拡幅は初め反対運動が起こったが、街の整備が進むにつれ、賛成に変わった。東京都も厳しい予算の中、鋭意事業を進め、56年12月、五日市街道から井の頭通りまでが完了した。

平和通りは、共同ビルに核店舗を誘致しようとの動きが起こり、バルコに決定してから南側の共同ビル化も進み、ロンロンとの通路や歩道の拡幅などの課題を克服し、62年3月、駅前広場の完成と同時に整備が完了した。

## 吉祥寺駅周辺都市計画道路事業の決定(東京都施行)

### その1

昭和43年9月30日

街路番号			街路名称	事業地	幅員 m	延長 m
等級	類別	番号				
2	2	9	国領 吉祥寺線	武蔵野市吉祥寺本町2丁目、本町1丁目、 御殿山1丁目及び南町1丁目地内	16	520
(3)	4	16				

### その2

昭和55年1月16日

街路番号			街路名称	事業地	幅員 m	延長 m
等級	類別	番号				
2	2	4	吉祥寺 平和通り線	武蔵野市吉祥寺本町1丁目地内	16	190
(3)	4	4				



昭和56年12月公園通りの区間整備が完了した。

吉祥寺駅周辺に影響のある都市計画道路のうち五日市街道（3・4・10号線）は61年10月に事業認可され、現在も事業が続いている。

なお、井の頭通り（3・4・3号線）については、計画幅員がほぼ現況幅員なので、計画決定のままおかれている。

## ●区画道路、市道認定

区画道路については、昭和42年4月、市道第189号線及び市道第190号線が、道路法にもとづき路線認定された。

昭和48年11月には市道第189号線が全線開通した。

また、昭和50年3月、市道第190号線も南半分を残して、元町通りから仲町ダイヤ街が整備され、F&Fビルの環境が整備された。平成3年度末現在の用地買収進捗率は65%であり、全線完成に向けて、現在も事業が続いている。

また昭和56年12月、市道第250号線及び市道第251号線がそれぞれ道路法にもとづき路線認定され吉祥寺駅施設と平和通りとの接続がなされた。

## 吉祥寺駅周辺市道路線認定

### その1

昭和42年4月4日

路線名	起 点	終 点	主な経過地	幅員 m	延長 m
市道 第189号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2073番2 市道第6号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2048番1 都道第114号線		8.0	176.0
市道 第190号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2051番11 都道第115号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2051番9 市道第189号線	市道 第7号線	8.0	119.0

### その2

昭和56年12月25日

路線名	起 点	終 点	主な経過地	幅員 m	延長 m
市道 第250号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2051番先 都市計画道路3・4・4号線 (都道第115号線)	武蔵野市吉祥寺南町 1丁目2051番先 (国鉄用地)		6.0	9.9
市道 第251号線	武蔵野市吉祥寺本町 1丁目2050番先 都市計画道路3・4・4号線 (都道第115号線)	武蔵野市吉祥寺南町 1丁目2738番先 (国鉄用地)		6.0	9.4

## ② 商業の核づくり

昭和35年、荒井源吉市長は吉祥寺駅に近い短大（通称音体）の借地権を都市計画のために必要であると約3億円で購入した。昭和35年の市の一般会計（決算）が約12億3,000万円であったことから、音体跡地の購入は大英断であった。

これについては、都市計画該当者の移転先として、また吉祥寺周辺の商業の核として魅力あふれるビルの建設が計画された。

これは、駅より200m位離れた位置に商業の核を配置することにより、歩行者の回遊性を期待するものであった。

昭和43年、財武蔵野市開発公社を設立しA、B 2棟からなるビルを設計した。A棟は、該当者への分譲を第一に考慮し、飲食、小売りのショッピングビルだが、市民ホールなどが設けられた複合施設となり昭和47年3月にF&F（フューチャー&フューチャー）ビルとしてオープンした。B棟には、再開発ビルをキーテナントとして伊勢丹を誘致し、昭和46年11月にオープンした。



昭和35年 ● 音体跡地を買収



昭和46年 ● 伊勢丹オープン

### ③ ターミナルづくり

国鉄中央線の複々線高架化に伴う国鉄余剰地及び高架下利用について、地元は大きな期待を寄せていたが国鉄は、国鉄主導の会社の設立をとの意向が強く、鉄道弘済会及び鉄道会館を主体とした会社である㈱ステーションセンターが設立された。

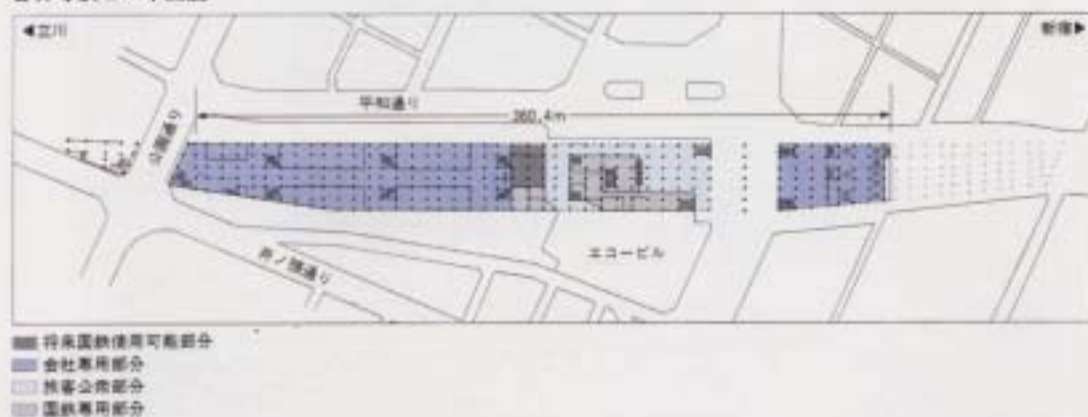
昭和44年（1969）複々線高架化が完成し、12月には高架下にショッピングセンター、ロンロンがオープンした。

駅南側では、多摩青物市場跡地が富士ビル開発㈱に売却され、地下利用を条件として道路用地の寄付を申し出た。市はこれを受け入れ、45年11月富士ビルは、京王帝都電鉄と共同で井の頭線吉祥寺駅を含む商業ビル、ターミナルエコーを完成させた。



昭和42年●井の頭踏み切り(昭和42年10月28日を最後に役目を終える)

吉祥寺駅ビル平面図





### 3. より良い環境を目指して

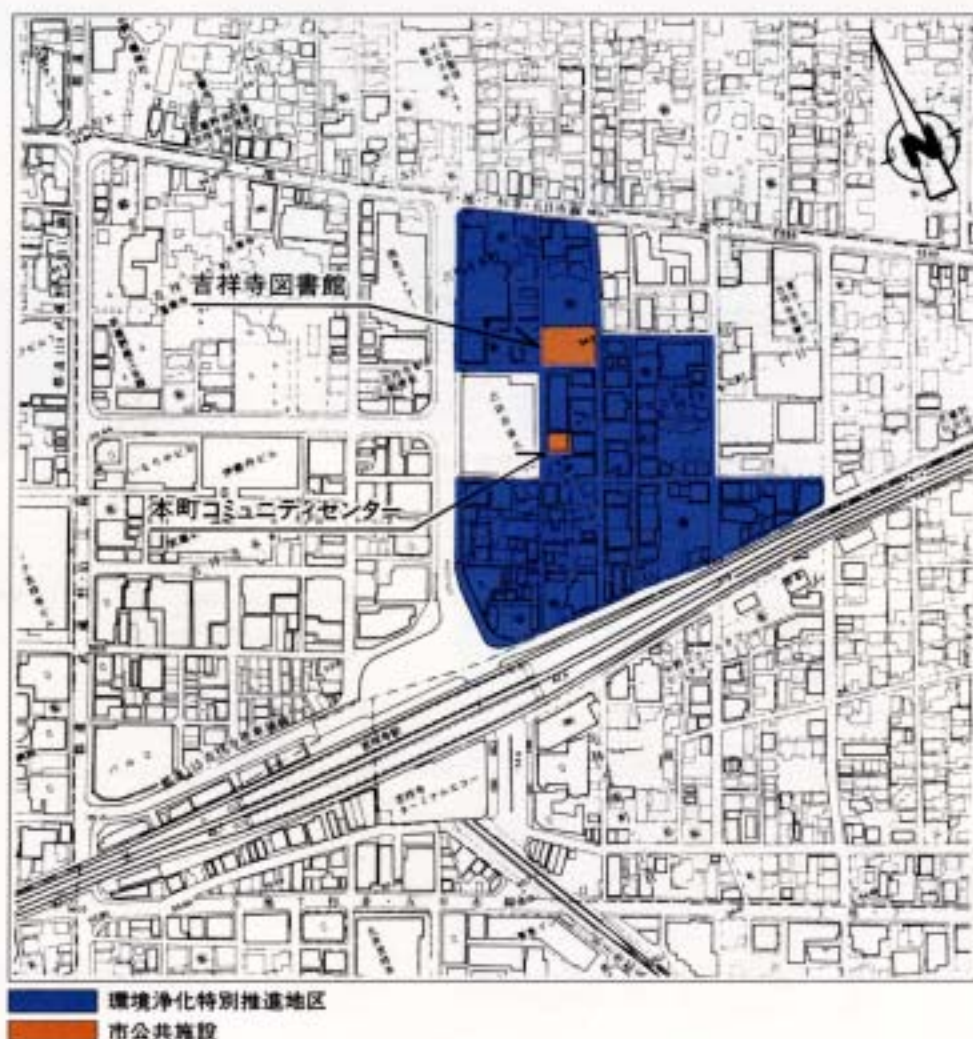
#### (1) 環境浄化特別推進地区

昭和40年代の後半、吉祥寺駅の再開発により商業活動は活発になったが、反面駅北口の俗に「近鉄裏」と呼ばれる一画に風俗営業を行う店が数多く進出して歓楽街を形成し、近隣の生活環境を著しく悪化させた。

市では、昭和58年に弁護士を環境対策専門委員として委嘱し、市職員で構成するプロジェクトチームとともに、市民から要望の強い環境浄化対策の条例化について検討を重ねた。

こうして環境浄化に関する理念や基本的事項を定めた「武蔵野市環境浄化に関する条例案」と、「武蔵野市旅館、レンタルルーム規制条例案」をまとめた。

両条例により、特に環境浄化を推進する必要がある地区を「環境浄化特別推進地区」とし、ここには旅館、レンタルルームの営業が許可されないことになった。また、街路灯の整備、特殊インターロッキングの敷設等、全市一丸となって環境浄化にとりくんだ結果、今この地区は明るい街なみに変わってきた。



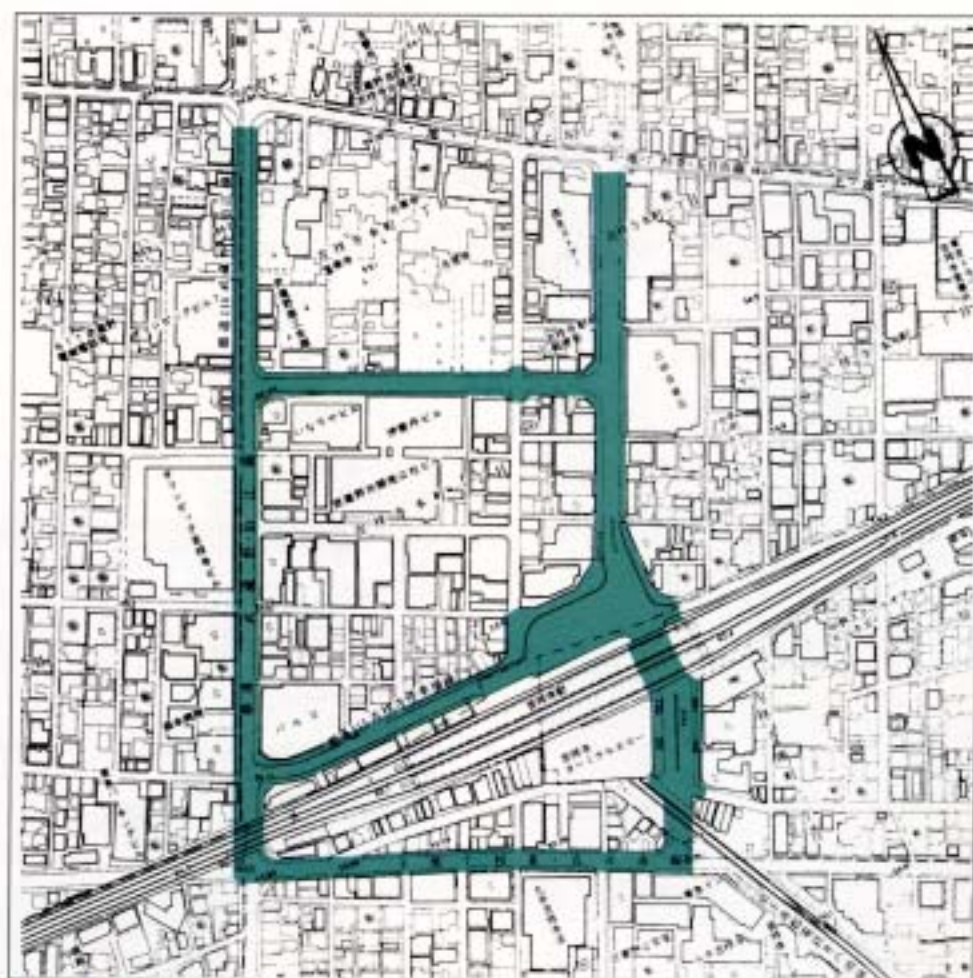
## ② 違法駐車防止条例

近年、特に駅周辺の道路で路上駐車を要因とする慢性的な交通渋滞など道路交通上の障害が生じており、大きな社会問題となっている。

当市においても、市民アンケート調査の中では、ここ12年間連続して「交通対策問題」がトップにあがっており、行政上の対策を迫られている。

このような背景をふまえ、市では、平成2年10月1日「武蔵野市違法駐車防止に関する条例」を制定し、違法駐車防止に努めている。

条例の内容は、交通の取り締まりではなく、地域の交通ルールを確立することによって、安全で快適な生活環境を確保することを目的としたもので、その手段として、違法駐車を防止しようとするものである。武蔵野市では全国に先駆け「交通指導員制度」を創設した。この制度は、関連する条例の制定・実施体制の確立・地元商店会を含めた協議会の設立によって実施していくものであり、開始以来、違法駐車は大幅減となり、大きな効果をあげている。



違法駐車防止重点実施地域

## 4. これからの吉祥寺

### (1) 課題

まずあげられるのが、駐車場の問題である。吉祥寺の商業地区としての交通容量は限界に達しているにもかかわらず、通過交通量は非常に多い。

また、駐車場の現状での需要は、約3,000台であるが、現在の駐車場の収容台数は約1,700台しかなく、根本的に駐車場が不足している。

次に自転車問題である。駅周辺の自転車駐輪は、約9,600台であり、市が設置した駐輪場が、4,800台であることから、道路上に放置された自転車は、アメニティを阻害するばかりでなく、災害時の歩行者の誘導にも憂慮すべき事態となっている。

南口については広場がなく本来歩行者専用ともなるべきパークロードにバスを通さざるを得ない状況である。また、約800回にも及ぶバス回数のバス停留所8ヶ所が水道道路沿いにあり、交通の流れを阻害していること、井の頭公園との結びつきが明確でないことが課題としてあげられる。

また、周辺競合商業地の市街地再開発による大型核店舗の進出は吉祥寺の商圈を縮小しつつあり、一抹の不安を抱かせるものもある。

北口駅前マーケット街区については、約3,000㎡の街区面積内に約120店という店舗が密集し、防災上の面からも問題が多い。この地区は昭和46年、防災建築街区造成事業第2地区に指定されたが、最終的には権利者の合意を得ることができず、現在に至っている。



パークロード●南口の街づくりが今後のポイントに



駅前マーケット街区

## ② 21世紀にむけて

吉祥寺のフェスティバルの一環として「人間中心のフリータウンをめざして」と題したシンポジウムが開かれたが、その中で出された意見が今後の吉祥寺のあり方を示しているといえる。

- 井の頭公園は吉祥寺を演出している。井の頭公園こそ吉祥寺のランドマークである。
- 吉祥寺の発展は商業都市の面と住宅都市の面がある。
- 一步裏にはいると道路も整然としていて店が少なく安心する。
- 住宅地としての恵まれた環境をこれからも大切にすべきである。
- これからの吉祥寺は、文化的、近代的な商業地としてちょっとおしゃれをして歩いてみたいような街にしたい。それには美しい街並みが一番欲しい。
- 街づくりといえば昼間のことばかりだが、一日の半分は照明のいる時間、夜の照明のありかたでその街の印象が変わってくる。吉祥寺の夜景が気持ちのよいものかどうか考えてほしい。
- 住宅地としての魅力もあるので商店街の区域は拡げるべきではない。
- 高齢者や体の不自由な、あるいは、ベビーカーを押している若いお母さんが快適に楽しめる街になっているか、という視点でみて、少しでも改善する努力が必要だ。

「論理的に詰められてきた計画を人間のスケール、人間の生理、心理の点から再評価し直すことが必要だろう。」とコーディネートされた。



美しい、人間味のある街として「活気」、「親しみやすさ」、「明るさ」といった魅力が評価されている。



いまや、一大ショッピングセンターとして、また若者の情報発信地として新しいエネルギーがあふれている。

## ●資料

### (1) 年 表

昭和29年 9月		市議会駅前広場都市計画特別委員会設置
31	2	市議会吉祥寺駅前広場都市計画調査特別委員会設置
35	3	市議会吉祥寺駅周辺都市計画調査特別委員会設置
	9	東京女子体育短期大学敷地（通称音体跡地）約6,750㎡の土地賃借権を約3億円で買収
37	3	吉祥寺駅周辺改造計画案（高山案）を発表
	5	国鉄中央線荻窪～三鷹間複々線高架化計画発表
	8	地元商店街に「吉祥寺駅周辺都市計画対策協議会」設置
38	3	市議会吉祥寺駅周辺都市計画調査特別委員会と地元対策協議会との間で協定を結ぶ
39	1	吉祥寺駅周辺開発事務所設置
	2	市・市議会・地元の三者による「吉祥寺駅周辺都市計画協議会」設置
	6	吉祥寺駅周辺地区現況測量着手
	8	東京都から「吉祥寺駅付近の街路計画案」提示
	9	「吉祥寺駅付近の街路計画案」に対して同意を東京都に回答
10		吉祥寺駅周辺都市計画道路3・3・15号線外3路線計画決定
11		武蔵野市長を発起人代表として「吉祥寺民衆高架駅」設置を申請



昭和15年●吉祥寺駅前



昭和37年●駅前通り(現・サンロード)

- 昭和40年 3月 国鉄中央線荻窪～三鷹間複々線高架化工事吉祥寺駅構内工事着手  
 6 「吉祥寺駅周辺再開発手法」を公表  
 11 市議会「吉祥寺駅周辺都市計画特別委員会」を設置  
     「吉祥寺駅周辺再開発手法」を討議  
 41 7 市議会特別委員会において事業手法について示唆を出す（用地買収方式をベースに）  
 9 「吉祥寺駅周辺都市計画事業計画」を公表  
     ① 都市計画道路事業計画  
     ② 音体跡地再開発基本構想  
     ③ 区画街路計画  
 12 吉祥寺駅周辺都市計画道路3・3・15号線外3路線事業決定  
 42 4 区画街路計画を道路法（市道第189号線及び第190号線）により路線認定  
 12 南口の富士ビル開発株所有地（多摩青物市場跡地）のうち都市計画道路の該当区域約1,364㎡について地下占用許可を前提とする道路敷として寄付受入れを議決、あわせて道路法により当該区間を市道路線の認定議決を行う。  
 43 4 音体跡地再開発計画による「伊勢丹出店について」覚書を交換  
 7 国鉄高架下利用のため「株吉祥寺ステーションセンター」設立  
 8 音体跡地再開発計画推進のため「(財)武蔵野市開発公社」を発足  
 9 吉祥寺駅周辺都市計画の一環として東京都施行による武蔵野都市計画道路3・4・16号線（吉祥寺通り）事業認可



昭和37年●仲町通り(現・チェリーナード)



昭和41年●井の頭踏み切り

- 昭和44年 3月 国鉄中央線荻窪～三鷹間複々線高架化工事完成
- 5 吉祥寺駅北口防災建築街区指定
- 6 吉祥寺駅北口防災建築街区造成組合設立
- 10 開発公社ビル建設工事着手
- 12 「榊吉祥寺ステーションセンター（ロンロン）」オープン
- 45 11 「吉祥寺駅南口ターミナルエコー」オープン
- 12 吉祥寺駅北口防災建築街区造成組合の第一協同ビル「ファミリープラザ」オープン
- 46 3 「吉祥寺駅北口駅前広場造成協定」を国鉄東京第二工事局と締結
- 3 都市計画道路3・3・15号線（吉祥寺大通り）「五日市街道～南口市道第2号線（末広通り）」の区間開通
- 8 開発公社ビルA棟区分所有部分該当者の分譲申込み締切り
- 11 同ビルB棟「伊勢丹吉祥寺店」オープン
- 11 「サンロード」アーケード街完成
- 12 開発公社ビルA棟「吉祥寺エフエフ商業協同組合」設立
- 47 3 同ビルA棟「F&Fショッピングセンター」オープン
- 48 11 区画街路市道第189号線（元町通り）全線開通
- 49 3 都市計画道路3・4・8号線（本町新道）全線開通
- 5 「東京近鉄百貨店」オープン
- 6 「東急百貨店吉祥寺店」オープン



昭和41年 ● 平和通り



昭和48年 ● 元町通り

- 昭和50年 3月 吉祥寺駅北口防災建築街区造成組合第二協同ビル（ムサシヤ・三松外）オープン
- 3 区画街路市道第190号線「元町通り～仲町ダイヤ街」の区間、一部を除いて開通
- 51 3 吉祥寺駅北口防災建築街区造成組合第三協同ビル（浅野氏外）オープン
- 52 11 都市計画道路3・3・14号線（吉祥寺大通り）京王帝都井の頭線ガード完成により全線開通
- 53 9 南口「丸井吉祥寺店」新規オープン
- 54 10 都市計画道路3・4・4号線（平和通り）事業説明会
- 55 1 都市計画道路3・4・4号線東京都施行事業認可
- 9 北口の春山氏外による共同ビル「バルコ」オープン
- 11 286台収容の駐車場ビル「吉祥寺パーキングプラザ」オープン
- 11 吉祥寺駅北口防災建築街区造成組合解散決議
- 56 12 都市計画道路3・4・16号線（吉祥寺通り）東京都施行により「五日市街道～井の頭通り」の区間整備完了
- 12 吉祥寺駅施設と平和通りを接続する通路（市道第250号線及び第251号線）を道路法にもとづき路線認定
- 57 3 吉祥寺駅北口駅前広場造成協定にもとづく第一次用地交換契約
- 8 吉祥寺駅施設と平和通りを接続する通路（市道第251号線）開通
- 58 12 勲武蔵野市開発公社寄付行為変更
- 60 3 吉祥寺駅周辺都市計画事業の土地収用法適用



昭和49年●東急百貨店オープン



昭和53年●丸井吉祥寺店オープン  
南口の商業の核に



- 昭和60年 8月 吉祥寺駅施設と平和通りを接続する通路（市道第250号線）開通
- 61 3 開発公社第二ビルオープン
- 3 吉祥寺駅前広場区域用地取得終了
- 8 開発公社第三ビルオープン
- 62 3 都市計画道路3・4・4号線（平和通り）東京都施行により一部を除き  
拡幅整備終了
- 3 都市計画道路3・3・15号線駅前広場完成



昭和62年3月 ● 吉祥寺駅前広場完成



移動可能なフラワーポットの演出による駅前広場

(駅前広場の地下には100tの貯水槽を設置し、火災に備えている。)  
これも北口駅前広場の大きな特徴である。

② 資金計画(吉祥寺駅周辺開発事業費・昭和39～61年度決算額)

〈事業費累計〉

単位：千円

市 施 行 額	投 資 的 経 費	道路事業費	11,715,568
		防災建築街区造成事業補助金	80,956
		公債費等	696,893
		小計	12,493,417
消 費 的 経 費	消 費 的 経 費	人件費	797,297
		物件費	91,258
		その他	272,666
		小計	1,161,221
		音体跡地取得経費等(昭和35年度)	385,034
		計	14,039,672
		都施行額	6,569,375
		合計	20,609,047

〈財源内訳〉

単位：千円

国庫補助金		3,602,890	25.66%
都費補助金		478,595	3.41%
その他		892,774	6.36%
市 負 担	市債	525,054	3.74%
	一般財源	8,540,359	60.83%
合計		14,039,672	100.00%



吉祥寺駅周辺航空写真

---

# 吉祥寺

～ まちづくりのあゆみ ～

---

平成4年3月 発行

発行・編集 武蔵野市都市開発部  
武蔵野市緑町2-2-28  
☎0422-51-5131

印刷 榊福昌堂印刷  
世田谷区北烏山3-8-15  
☎03-3308-8531

---